

# 令和6年度事業計画案

## 1 相談事業

相談窓口を設置し、ボランティア活動やボランティア団体の紹介、助成制度の情報提供などを実施する。

## 2 財政的支援事業

### (1) ボランティア保険の掛金助成

- ① 活動保険：ボランティア活動中の様々な事故によるケガや賠償責任を補償  
助成対象者：年間を通じて活動するボランティア  
助成内容：1人につき200円助成（掛金350円～500円/人・年）
- ② 行事用保険：福祉活動等の様々な行事における事故によるケガや賠償責任を補償  
助成対象者：各種行事の主催者及びスタッフ  
助成内容：1人につき20円助成（掛金28円～248円/人・日）

## 3 情報収集・提供事業

### (1) 交流名簿の作成

県内のボランティア団体についての情報を収集し、団体間の交流や連携を深めるために、「いしかわのNPO・ボランティア交流名簿」を作成し、ホームページに掲載する。

### (2) インターネットによるボランティア情報の発信

ホームページを運営し、センター事業・ボランティア情報等を発信する。

## 4 普及・啓発事業

### (1) 災害ボランティアによる防災活動の環境整備

- ① 災害対策ボランティア本部設置・運営訓練の実施  
令和6年能登半島地震を踏まえ、本部の開設、ICTを活用した関係機関との情報伝達や現地本部との連携方法などについて確認する訓練を実施する。
- ② 災害対策ボランティア連絡会の開催  
令和6年能登半島地震における連絡会構成団体の取り組み状況や情報交換等の充実に努め、連携体制の推進を図る。
- ③ 学生等災害ボランティアリーダーの育成  
災害ボランティアの基本知識や実践的なスキルを学ぶため、大学生等を対象に、次代の災害ボランティアリーダーの育成を目的としたボランティア活動や研修会などを開催する。  
学生が行う被災者の支援活動等の経費を一部助成する。（上限5万円）

④ 企業の災害ボランティアセミナーの開催  
県内企業を対象に、災害時、企業としてどのような被災地支援ができるかについて考えるセミナーを開催する。

⑤ 災害ボランティア交流フォーラムの開催  
被災地支援を行うボランティア団体等のこれまでの活動事例等を通して、災害支援の課題を共有し、支援のあり方を考えるフォーラムを開催する。

(2) ボランティアに関する講習会等への助成  
ボランティアの普及・啓発、活動の充実・強化のため開催する講習会等に係る講師謝金及び講師旅費を一部助成する。(上限5万円)

## 5 県受託事業

(1) NPO活動支援センターの管理、運営

- ① センターの管理、運営業務
- ② NPOに関する相談業務
- ③ あいむ運営会議（利用者会議）の開催業務
- ④ NPO等の備品調達コーディネート業務

※令和6年4月1日より開館時間を変更（月曜日・祝日休館は変更なし）

| 曜日  | 変更前        | 変更後         |
|-----|------------|-------------|
| 火・水 | 9:00～22:00 | 9:00～17:00  |
| 木・金 | 9:00～22:00 | 13:00～21:00 |
| 土・日 | 9:00～17:00 | 9:00～17:00  |

(2) 災害ボランティアコーディネーターの養成等

- ① 災害ボランティアコーディネーター養成研修会の開催  
災害時に被災者のニーズとボランティアを調整するコーディネーターを養成する。
- ② 災害ボランティアコーディネーターフォローアップ研修会  
コーディネーター養成研修修了者を対象に、コーディネーターとしての役割等の再確認やスキル向上のためのフォローアップ研修を開催する。

## 6 管理費

- (1) 理事会・評議員会の開催など
- (2) NPO活動支援センター機器利用に係る管理  
コピー機、プリンター、印刷機の消耗品購入及び管理

## 7 災害対策事業費

災害対策ボランティア活動支援

令和6年能登半島地震について、ボランティア活動に必要な物資等を支援。